

森づくり通信

No.79

2026年3月18日(水)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



雨水のぼうけん

毎年このコーナーで書いているのは、「今年の雪は大変だったねー」というたぐいの挨拶文ですが、今年も状況は変わらずでしたね。地球温暖化の影響で日本海の海水温度が下がらず、水蒸気が次々と供給され、そこに寒気が流れ込むせいで雪が止まらない状況が続きました。

かと思えば、太平洋側では雨でも雪でもいいのに降らずに、ダムの水が枯れそうになったり、山火事が頻発している映像が TV で流れています。

地球温暖化や戦争などの問題も人類の知恵である協調という言葉は、いったい何処にいつてしまったのでしょうか。

令和8年 森づくりイベント予定(一般参加可能活動)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
4月25日(土)	テクノの森づくり 森林整備と森のレクリエーション	金沢テクノの森	金沢市森林再生課 076-220-2217
5月23日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備としいたけ植菌	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
6月21日(日)	森のファミリースクール 木工作など	医王の里キャンプ場	テレビ金沢 076-240-9013

12月13・14日(土・日) クリスマス・ヴィレッジ

金沢の木育 クリスマス・ヴィレッジが金沢市民芸術村で2日間開催され、多くの来場者で賑わいました。フィンランド発祥のモルックゲームや、木を斜め切りにした面にサンタや顔を描くツウ、木の枝やどんぐりなどで作品を作るブースなどで木に親んでもらい、森林



の多様性を感じてもらいました。私達は木のカーリング作りを担当し129名の親子参加者がありました。杉の木の丸太を円盤状に切り、ハンドサンダーで磨いてイラストなどの装飾を行い、カスガイを取り付けて会場に設置したゲートを狙い遊んでもらいました。





森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

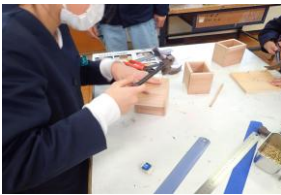
大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

12/17 (水) 内川小緑の少年団



金沢市で唯一緑の少年団がある内川小学校で団員(3~6年生)29名を対象に森の出前講座を行いました。



木を育てて使うことが地球温暖化を防ぐことなどを中心に話をし、金沢産のスギでマルチスタンドを作ってもらいました。

12/26 (金) みはる児童クラブ



割出町のみはる児童クラブ児童20名を対象に森の出前講座を行いました。



今年2回目の出前講座だったので、森の話のあと事前にクギ穴を開けた部材で、ミニプランターを作ってもらいました。シールやイラストを描き完成させました。

12/26 (金) 小坂児童クラブ



児童33名を対象に森の出前講座を行いました。



森の様々な恩恵を話しパワーポイントで「雨水のぼうけん」の紙芝居を見てもらってから、スギのコースターをサンドペーパーで磨いてネームプレートを作りました。

1/6 (火) 伏見台公民館



窪の伏見台公民館が募集した区内の小学生27名を対象に、森の出前講座を行いました。



パワーポイントで森の様々な恩恵の話を行いました。後半は、スギのコースターをサンドペーパーで磨いて、ネームプレートを作ってもらいました。

1/6 (火) あかしあ児童クラブ



栗崎町のあかしあ児童クラブ児童22名を対象に森の出前講座を行いました。



前半は森についての話をクイズ形式で学んでもらいました。その後、スギのコースターをサンドペーパーで磨いてもらい、ネームプレートを作りました。

2/26 (木) 田上小学校



田上小学校では昨年の夏休みに図書館の床を金沢産のスギ材で改修したことを機会に、森に関心を持ってもらうことを目的に5年生40名に森の出前講座を行いました。学校で事前学習もありスムーズに理解してくれたと思います。



金沢市 海岸松林 再生事業

金沢海岸の松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後世に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し抵抗性クロマツを、栗崎から打木に至る金沢海岸に植栽しています。

※抵抗性クロマツとは松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。



3/13 (金) 専光寺地区

専光寺ふれあいの森に金沢市マレットゴルフ協会の会員の皆さん38名が参加し、抵抗性クロマツの苗を150本植栽しました。

毎年の事なので植栽は知っていると思いましたが、1年に1回の作業なのと速さより丁寧に植えてもらいたいので、マレット協会会長の挨拶後植え方の実演説明を行ってから2人1組で植えてもらいました。



3/14 (土) 栗崎地区

栗崎やすらぎの林内に2010年から抵抗性クロマツの植栽や森づくりを行っています。

コマツ金沢工場の皆さんと栗崎町会、パークゴルフ協会会員の皆さん80名が参加し抵抗性クロマツの苗を400本植栽しました。

その他の作業として以前植えたクロマツの枝払いの作業を並行して行いました。



3/15 (日) 専光寺地区

金沢市海岸砂防協会では金沢の海岸林のマツがマツクイムシの影響で枯死する状況をふまえ、海岸林再生のため抵抗性クロマツの苗を植えています。

今回は専光寺地区の一角に会員の皆さん9名が参加し、会長の下沢市議の開会挨拶後、植え方の実演説明を行い、抵抗性クロマツの苗を200本植えてもらいました。



3/16 (火) 下安原地区

金沢市下安原生産組合のメンバー4名の方が代表で参加し、抵抗性クロマツの苗を250本植えました。

開始挨拶後現場に移動し植え方の実演説明を市職員が行いました。

植えるところは基本的に松くい虫の被害で、伐採した跡地になり数箇所に分れており、その都度全員で移動しながら植えて行きました。



刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	令和8年 4月10日(金)	石川森林文化 ホール	令和8年 3月27日(金)
伐木等業務(チェーンソー) 特別教育	令和8年 4月15~17日 (水)~(金)	石川森林文化 ホール	令和8年 3月27日(金)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方々には受講に対しての支援を行っていますので希望される方はぜひ受講してください。

会場は 石川県森林文化ホール(金沢市東蚊爪 1-23-1)

※お問い合わせ・お申し込みは期日までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込みください。(直接申込みは補助対象になりません)

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://kanazawa-moridukuri.com/index.html>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



編集雑記

「ありがとうございました」

2012年(平成24年)4月より14年間金沢市森づくり専門員としてお世話になりました。森づくり活動や出前講座、ウッディアートなどのイベントも知識も経験もないまま勢いで行っていましたが、皆さんの協力を得て様々な経験もさせて頂きました。

組織として事務局長と2人きりなので、金沢市森林再生課の皆さんには二人三脚といえるほどのご協力をいただき、活動を遂行することが出来感謝を申し上げます。

事務所がある金沢森林組合では組合長をはじめ職員の皆さんには暖かく接していただきお礼を申し上げます。

また10月には新たに旧東浅川小学校に金沢林業大学校とともに移転することが決まっており、今までとは一味も二味も違う活動を開始するとのこと聞いていますので、在籍していた者として市民に森の大切さを知ってもらい、森に親しんでもらえる施設になることを願っています。

森づくり活動は一朝一夕に効果は見えづらいのですが、自然の中で活動する楽しさや活動後の見遠える風景に充実感を味わえるだけでもいいなと私は思っています。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

